

- ① 天皇、皇后両陛下が城の遺跡を訪ねられ、納められた宝石の展示をご覧になった。
- ② 昨晚、欲ばってご飯を大盛りにしたので、腹が痛くなり困った。
- ③ 父の誕生日に、秘密で郷里の温泉へ旅行の計画を立て、親孝行した。
- ④ 私利私欲を捨て、誠心誠意人につくす姿に尊敬が集まった。
- ⑤ 地域の討論会では、異口同音に否定意見が出て解決策を見つけるのは難しかった。
- ⑥ 世の中が乱れると、善意の価値が忘れられ、利己的な考えを持つ若者が増える。
- ⑦ 我々の試合は、激しい点の取り合いになり、延長戦にもつれこむ厳しいものとなった。

- ① 洗たく物が何枚でも干せるように、伸び縮みする棒を補強した。
- ② 簡単な創作劇をするため、ばん奏を担当してくれる人を探した。
- ③ 山頂のお地藏様に穀物を供え、朗報が届くように拜むのは、一つの宗教の形だ。
- ④ 半熟のゆで卵と砂糖入り紅茶が、脳を活発にさせるか半信半疑だ。
- ⑤ 砂はまにえがかれる模様は、潮の満ち引きによって作られる。
- ⑥ 将来、宇宙に暮らすため、電磁波と放射線を取り除く装備が必要だ。
- ⑦ 夕日に染まる樹木を背景にした歌詞を作って、先生から批評された。

- ① 国家に忠誠心をもつ政党が、経済改革を行うための立派な宣言をした。
- ② 翌朝、障子窓の外にはつららが垂れ下がり、灰色の雲が広がっていた。
- ③ 内閣は憲法や法律に従い、条約への加盟などを話し合う。
- ④ 胸には心臓や呼吸の役割をもつ肺があり、太い骨に守られている。
- ⑤ 拡大していた鉄鋼などをあつかう重工業も、絹の生産や養蚕業と同じように縮小した。
- ⑥ 著名な指揮者は、優秀な演奏者の欠席でコンサートを延期した。
- ⑦ 「諸君、臨機応変に推理をしよう。」というメモが警視庁の署長の机に置かれていた。

- ① 鬼は一寸法師の針に傷つき、一刻を争う危ない状態になったが、死亡はまぬがれた。
- ② 専用車の電車賃をはらったが、切り株のように固い座席だったので降りてしまった。
- ③ 雑誌の巻末に単純な誤字が見つかり、大量の冊数を至急回収して処分した。
- ④ 聖火は競技場の階段の上で聖火台にともされ、オリンピックの開幕に興奮した。
- ⑤ 展覧会では、銀河系の縮尺図や月の裏側の映像を映し、貴重なイン石を展示していた。
- ⑥ 郵便局は、公衆の視点に立った便利さが認められている。

小六読み ⑤

- ① 仁愛の心にあこがれ、看護師として自宅近くの病院に就職できた。
- ② 暖かい春を読んだ俳句では、できた訳を説明した。
- ③ 憲法には、国民の権利と義務が定めてあり、裁判を受ける権利もその一つだ。
- ④ 地層に沿って、いくつもの筋と穴が存在し、蒸気が縦にぬけて上がっている。
- ⑤ その保育園では、幼児の班は体操をさせ、乳児たちは並んで休ませる。
- ⑥ 出勤前には、片付けはともかく、テレビの電源を切り、ドアのかぎを閉めよう。